AtermIT21L / 31L Ｌモードの説明と使い方

2001 年 6 月

【対応機種＆ソフト名】

機種名	ソ フ ト 名	バージョン
AtermIT21L	ファームウェア	Ver.1.50 以降
	ユーティリティ(Windows 版)	Ver.1.40 以降
	ユーティリティ(Macintosh 版)	
AtermIT31L	ファームウェア	Ver.1.50 以降
	ユーティリティ(Windows 版)	Ver.1.40 以降
	ユーティリティ(Macintosh 版)	

【著作権者】　日本電気株式会社
【対象ユーザ】　上記の Aterm をご使用のお客様
【転載条件】　転載禁止

もくじ

1.　お使いになる前に

ファームウェア及びユーティリティをバージョンアップする

Ｌモードの設定を行う前に、バージョンアップ用のファームウェア及びユーティリティを入手し、それぞれバージョンアップを行ってください。
バージョンアップの方法は、下記を参照してください。

- AtermIT21L の場合：取扱説明書の「Aterm をバージョンアップする」
- AtermIT31L の場合：電子マニュアルの「Aterm のバージョンアップ」

2.　Ｌモードについて

2.1　Ｌモードを利用するには

Aterm は、**Ｌモード**に対応しました。Aterm にＬモード対応のアナログ通信機器を接続してご利用になれます。
Ｌメールがメッセージセンタに届いたときに、Ｌモード対応のアナログ通信機器のディスプレイにメッセージがあることを表示させたり、Aterm の MSG ランプを点灯させることができます。

● **必要な契約**

Ｌモードの契約（有料）が必要です。

● **必要な設定**

アナログポートに接続する機器を「FAX／モデム／Ｌモード対応電話機」に設定する必要があります。また、Ｌモードに対応したアナログ通信機器が必要です。Aterm の MSG ランプを点灯させるには、「メッセージあり情報通知表示」の設定が必要です。Aterm に接続したアナログ通信機器にメッセージがあることを通知してディスプレイなどに表示させるには、情報通知サービスの設定を「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定する必要があります。
Ｌモードをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。
AtermIT31L の電話 C ポートでは、Ｌモードを使用できません。

■アナログポートに接続する機器の設定■

機　能	パソコンで設定	設定内容
接続する機器	アナログポートの詳細設定画面（電話 A／B ポート）「よく利用する設定」	「FAX／モデム／Ｌモード対応電話機を接続」を選択する

■アナログポートに接続したアナログ通信機器にメッセージがあることを通知させる場合■

Ｌモードに対応したアナログ通信機器を接続しているアナログポートごとに設定が必要です。

機　能	パソコンで設定	設定内容
情報通知サービス	アナログポートの詳細設定画面（電話 A／B ポート）「よく利用する設定」	「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」または「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」を選択する

■　Aterm の MSG ランプを点灯させる場合■

機　能	パソコンで設定	設定内容
メッセージあり情報通知表示	アナログポートの詳細設定画面（共通設定）「着信設定」	「メッセージあり・なしを MSG ランプで表示する」を設定する

● **メッセージが届いたときの表示**

メッセージセンタからの情報が、Aterm に通知されると MSG ランプが緑点灯します。

《お知らせ》

- 「メッセージあり情報通知表示」を設定したアナログポートに設定する電話番号は、発信時に通知する番号と着信する番号とを同じにしてください。
- S 点ユニットに他の INS ネット 64 用通信機器を接続している場合は、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- おでかけ設定をフラッシュモードにしているときは、電話機には通知されません。
- Ｌモードを利用できる電話番号は、各アナログポートに１つのみです。
- Ｌモードに対応していないアナログ通信機器を接続しているときにメッセージセンタからの情報を受信しても、アナログ通信機器への通知は正しく行われません。
- Aterm のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの表示は一致しないことがあります。
- Ｌモード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。
- Ｌモードについては、詳しくは局番なしの 116 番または NTT 東日本／NTT 西日本の営業所等へお問い合せください。
- Ｌモードに対応していない Aterm に取り付けられている高機能Ｓ点ユニットからブランチ接続でＬモードに対応している Aterm をつないだ場合は、Ｌモードを使用できません。
- Ｌメールの通知と電子メール着信通知または UUI メール受信の両方がある場合には、MSG ランプは「緑点灯→オレンジ点灯→…」をそれぞれ 1 秒づつ繰り返します。

2.2 INS メッセージ到着お知らせサービスを利用するには

Aterm では、INS ネット 64 の**INS メッセージ到着お知らせサービス**をご利用になれます。
メッセージがメッセージセンタに届いたときに、Aterm の MSG ランプを緑点灯させたり、INS メッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器に通知させることができます。

● **必要な契約**

INS メッセージ到着お知らせサービスの契約（有料）が必要です。
そのほかに INS メッセージ到着お知らせサービスを利用したサービスの契約（有料）が必要です。

● **必要な設定**

Aterm の MSG ランプを緑点灯させるには、「メッセージあり情報通知表示」の設定が必要です。
Aterm に接続したアナログ通信機器にメッセージがあることを通知してディスプレイなどに表示させるには、情報通知サービスの設定を「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定する必要があります。
また、メッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器が必要です。
INS メッセージ到着お知らせサービスを利用するには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。
AtermIT31L の電話 C ポートでは、INS メッセージ到着お知らせサービスを使用できません。

■アナログポートに接続する機器の設定■

機　能	パソコンで設定	設定内容
メッセージあり情報通知表示	アナログポートの詳細設定画面（共通設定）「着信設定」	「メッセージあり・なしを MSG ランプで表示する」を設定する

■アナログポートに接続した電話機にメッセージがあることを通知させる場合■

メッセージあり情報を通知するアナログポートごとに設定が必要です。
電話 C ポートでは設定できません。

機　能	パソコンで設定	設定内容
情報通知サービス	アナログポートの詳細設定画面（電話 A／B ポート）「よく利用する設定」	「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」または「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」を選択する

《お知らせ》

- 「メッセージあり情報通知表示」を設定したアナログポートに設定する電話番号は、発信時に通知する番号と着信する番号とを同じにしてください。
- S 点ユニットに他の INS ネット 64 用通信機器を接続している場合は、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- おでかけ設定をフラッシュモードにしているときは、電話機には通知されません。
- INS メッセージ到着お知らせサービスを利用できる電話番号は、各アナログポートに１つのみです。
- メッセージ到着お知らせサービスに対応していないアナログ通信機器を接続しているときにメッセージセンタからの情報を受信しても、アナログ通信機器への通知は正しく行われません。
- Aterm のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの表示は一致しないことがあります。
- INS メッセージ到着お知らせサービスの鳴動通知をご利用になる場合、着信を制約する設定（識別着信、迷惑電話防止など）によっては、通知されなくなります。
- Ｌモード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。
- INS メッセージ到着お知らせサービスについては、詳しくは局番なしの 116 番または NTT 東日本／NTT 西日本の営業所等へお問い合せください。
- Ｌモードに対応していない Aterm に取り付けられている高機能Ｓ点ユニットからブランチ接続でＬモードに対応している Aterm をつないだ場合は、Ｌモードを使用できません。
- INS メッセージ到着お知らせサービスと電子メール着信通知または UUI メール受信の両方がある場合には、MSG ランプは「緑点灯→オレンジ点灯→…」をそれぞれ 1 秒づつ繰り返します。

3．電話機から設定する

■ Ｌモードを設定する ■

《接続する機器の設定》

① 受話器を上げる。
② 【＊】【＊】【６】【＊】を押す。
③ 「電話Ａポート」に設定するときには【１】【０】【１】を押す。
　「電話Ｂポート」に設定するときには【１】【０】【２】を押す。
④ 【＊】【２】【＃】を押す。
⑤ 受話器を置く。

《情報通知サービスの設定》

① 受話器を上げる。
② 【＊】【＊】【１】【＊】を押す。
③ 「電話Ａポート」に設定するときには【１】を押す。
　「電話Ｂポート」に設定するときには【２】を押す。
④ 【＊】【１】【０】【＊】を押す。
⑤ 「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【５】を押す。
　「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【６】を押す。
⑥ 【＃】【＃】を押す。
⑦ 受話器を置く。

■ INSメッセージ到着お知らせサービスを設定する ■

《情報通知サービスの設定》

① 受話器を上げる。
② 【＊】【＊】【１】【＊】を押す。
③ 「電話Ａポート」に設定するときには【１】を押す。
　「電話Ｂポート」に設定するときには【２】を押す。
④ 【＊】【１】【０】【＊】を押す。
⑤ 「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【５】を押す。
　「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【６】を押す。
⑥ 【＃】【＃】を押す。
⑦ 受話器を置く。

4．らくらくアシスタントで設定する

■ アナログポートの詳細設定画面を表示する ■

1．らくらくアシスタントを起動する。

以降の操作は、Windows®、Mac OS 共通です。画面は、AtermIT21L の Windows®の例です。

2．［アナログポートの詳細設定］をクリックする。

3．［電話Aポート］／［電話 B ポート］／［共通設定］をクリックする。

4．［設定項目選択］の項目をクリックする。

それぞれの設定画面が表示されます。

■［電話Aポート］／［電話 B ポート］の設定 ■

1．［設定項目選択］の［よく利用する設定］をクリックする。

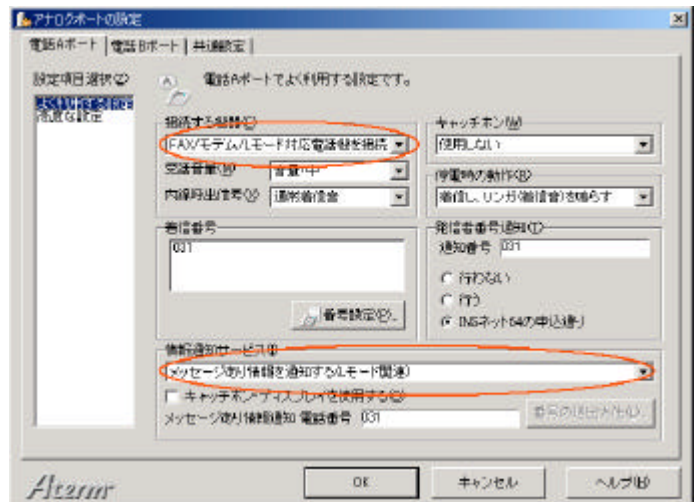
2．項目を設定する。

［接続する機器］

「FAX／モデム／Lモード対応電話機を接続」を選択する。

［情報通知サービス］

「メッセージあり情報を通知する（Lモード関連）」または、「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Lモード関連）」を選択する。

3．［OK］ボタンをクリックする。

■ ［共通設定］の設定 ■

1．［設定項目選択］の［着信設定］をクリックする。

2．項目を設定する。

［メッセージあり情報通知表示］

「メッセージあり・なしを MSG ランプで表示する」のチェックボックスにチェックする。

3．［OK］ボタンをクリックする。

5. AT コマンドで設定する

$A	電話 A ポートの設定と表示
機能	電話 A ポートの設定と表示を行います。
書式	AT$A＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞
パラメータ	＜パラメータ 1＞＜パラメータ 2＞ 0 ：設定内容を表示する 1 ：接続する機器 1=0：電話機（初期値） 1=1：FAX／モデム／Ｌモード対応電話機 1=2：使用しない 11：情報通知サービス設定 11=0：情報通知サービスしない（初期値） 11=1：ナンバー・ディスプレイを使用する 11=2：モデム・ダイヤルインを使用する 11=3：アナログ・ダイヤルインを使用する 11=4：ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルインを使用する 11=5：メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連） 11=6：ナンバー・ディスプレイ+メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）
入力例	AT$A1=1

$B	電話 B ポートの設定と表示
機能	電話 B ポートの設定と表示を行います。
書式	AT$B＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞
パラメータ	$A と同じです。
入力例	AT$B1=1

¥F	メッセージあり情報通知表示の設定と表示
機能	メッセージあり情報通知表示の設定と表示を行います。
書式	AT¥F ＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞
パラメータ	＜パラメータ 1＞＜パラメータ 2＞ 0 ：設定内容を表示する 2 ：メッセージあり情報通知表示の設定 2=0：表示しない 2=1：表示する（初期値）
入力例	AT¥F 2=1